



岐阜県退職公務員連盟

可児支部広報

令和6年度 第4号 8月21日



退公連入会のお勧めをお願いします

可児支部長 長谷川 秀次

岐阜県退職公務員連盟が加入している日本退職公務員連盟（略称曰公連）は会員数19万人の大きな組織です。昭和23年創立以来、わが国の社会保障制度改革に組織を挙げて取り組んできました。最近の実績の主なものは、基礎年金の国庫負担2分の1の恒久化、「職域部分の廃止」に伴う「年金払い退職給付制度」の実現、物価や賃金が低迷した場合マクロ経済スライドの発動に関して前年度の年金額を維持することの実現等であります。これらはいずれも、岐阜県退職公務員連盟と会員の方々の署名活動や要望活動並びに日公連の会長以下事務局の努力の賜であることは間違いない事実です。

曰公連には現職を含む次世代、広く社会のために社会保障制度を支えようと高い志を持つ人々が集まっています。

最近、この組織で会員の減少傾向が続いています。亡くなる方の人数に対し、新入会員の数が追いつかないのです。この流れが改善されなければ、年金制度の充実・存続は労働力人口の減少、すなわち制度の支え手の減少の流れに押し切られ、年金の減額が心配されます。

私たちの先輩は、年金制度の充実・発展と「組織の拡充」に努力されてきました。おかげで、私たちは今、汗を流された先輩以上の年金額を受け取り、後に続く世代の年金確保の活動を開けています。

ますますの高齢社会の進展が予想される中、制度の舵取りに政府も頭を悩ませておりますが、年金受給者の私たち自身も、これから受け取る現役及び次々世代も、共に安定した制度のもと年金受給が継続できるよう切に願います。

会員の皆さま方のお力を求めます。どうか退公連に入会していただけるようお勧めをお願いします。年金制度が充実し、国民の生活の支えになり続けること、加えて活力ある地域社会構築という私たちのもう一つの活動にお力をお貸しください。

※参考「この春退職された皆様へ」

令和6年5月吉日

日公連組織委員長 鮫岡 武

わたくしの信条

わたくしはかつて公務員であつた矜持と面目を堅持しつつ理想的な日本公務員制度の確立を要望する
われらは全国民の福祉増進を念じつつ進んで公共に奉仕し平和的文化國家建設の大業に寄与する
われらは和を貴ぶ 同胞融合 隣保相助の民風を尊重し身をもつてその育成につとめる
われらは思想的 政治的自由をもち 常に公正と中庸において歸一する

財団法人 日本退職公務員連盟

◆どのような方々が入会しているの？

右表の退公連徽章に表記されているように、現在、会員には教職員、国家公務員、都道府県・市町村職員、警察職員、自衛官職員、旧郵政職員、消防署職員等であった方々がみえます。

岐阜県退職公務員連盟規約の第1条には次のように規定されています。

- 第1条 本連盟は、岐阜県退職公務員連盟と称し、県内に在住又は在勤する次に掲げるもので組織する。
- 一 正会員 退職公務員及びにその遺族
 - 二 準会員 本会の趣旨に賛同し将来入会見込みのある者
 - 三 賛助会員 本会の趣旨に賛同し、事業を賛助する個人又は団体(法人等を問わない)



退職公務員だけでなく、その遺族や本会の趣旨に賛同する方々が対象ですので、全ての方々が入会対象者と言えます。本会の趣旨に賛同す方々及び団体に対し、入会を是非お勧めください。

◆年会費はいくら？何に使っているの？

可児支部の年会費 2,500円	岐阜県退公連への加盟金 1,000円	日公連負担金 新聞費 200円 分担金 100円
	可児支部の運営費 1,500円	岐阜県退公連の運営費 700円

岐阜県退職公務員連盟可児支部の年会費は、2,500円です。この年会費は各支部の規模等により、多少の差があるようです。私たちの年会費はどのように使われているのでしょうか。

可児支部では、2,500円の内、1,000円を岐阜県退職公務員連盟の加盟金として支出しています。よって、可児支部は残りの1,500円で運営しています。総計10万円程で、会議、総会、事業、事務、慶弔等に活用しています。厳しい会計です。因みに、可児支部役員は全員無償です。ボランティア精神で会員の皆様方の為に、意欲的に活動しています。

岐阜県退職公務員連盟への加盟金の1,000円は、日公連の負担金として、新聞費200円、分担金100円程度を負担しているそうです。よって残りの700円で岐阜県退職公務員連盟を運営しているわけで、これも厳しい会計になっているようです。会員の確保が本当に重要になっています。

◆退公連とは？

岐阜県退職公務員連盟より

① 全国の元公務員等約19万人の会員を擁す団体

現在、会員には教職員、都道府県・市町村職員、警察職員、自衛官職員、旧郵政職員、消防署職員等であった人々がいます。

② 年金等社会保障制度改善のため毎年国と交渉している元公務員等組織

毎年、日公連、各県退公連が全国一斉に要望書を提出し、制度改革が健全に行われるよう働きかけています。

③ 現職公務員への支援、社会貢献活動、会員相互の助け合い・親睦に取り組む組織

現職時代に培った知見とネットワークを活用し、地域貢献等の活動に取り組んでいます。

可児支部総会後 ご丁寧なお礼状が届きました

◆長寿祝いのお礼

長寿祝いの皆様方には、お祝い品を、担当の分会長がお届けいたしました。そのお礼状が届いています。ご丁寧なお礼状に対し、心より感謝申し上げます。ご紹介いたします。

姫治 鈴木美保子様より

退公連可児支部総会開催、御苦労様でございました。長寿祝いとして大変結構なお届け物を頂き、有り難うございました。

今年は大変な年になりました。3月と4月の2ヶ月、不整脈で入院しました。ホテルの手術を受け、5キロ体重を減らしましたが、5月退院出来るまでに、健康を取り戻しました。

退院2ヶ月が過ぎましたが、入院前の体力は戻せず、寝たつきりにならない為に気力を失わないよう、体力と気力で、自分の生活を維持できるように頑張っている毎日です。



※近況報告の広報掲載については書面にてお願いし、ご理解戴いています。

春の叙勲受章 おめでとうございます

瑞寶雙光章 (教育功労) 高木俊朗さん 70歳 伏見

瑞寶雙光章は、公共的な業務(一般行政事務、教育や研究、社会福祉、医療、保護士や民生委員、危険性の高い業務など)に長年従事した人で、他の模範となる成績を上げた人が対象となっています。

高木さんより、春の勲章伝達式・拝謁の報告が届いていますので、次項より紹介します。

令和6年 春の勲章伝達式・拝謁 5月14日

4月29日、令和6年春の叙勲受章者、褒章受章者が発表され、今回の叙勲受章者は政府全体で4,106名、褒章受章者は665名でした。そのうち、文部科学省関係(教育、科学技術・学術、文化、スポーツ)の受章者は、叙勲が734名、褒章が35名でした。文部科学省関係の令和6年春の勲章伝達式・拝謁は、5月13日(月)、5月14日(火)の2日間に分かれて執り行われました。

私は、5月14日(火)でした。晴天に恵まれました。

◆伝達式 午後1時45分 ホテルニューオータニ鶴西の間



▲ホテルニューオータニ



▲受付



▲鶴西の間に集合



▲春の勲章伝達式

14日は、受章者を代表して、瑞寶中綬章を受章された林一馬氏（元長崎総合科学大学長・元長崎県文化財保護審議会会長）が、盛山大臣から勲記と勲章を伝達されました。



▲勲章伝達



▲文部科学大臣挨拶

◆皇居へ出発 午後2時40分 拝謁 午後4時50分



▲16台のバスで皇居へ



▲乗車バス 9号車

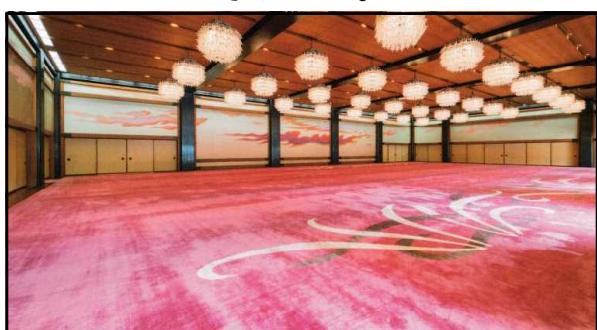


▲皇居に

バスは長和殿の広場に停車し、北溜から豊明殿へ入りました。夫婦共々天皇陛下に拝謁し、お言葉まで賜りました。そして、北溜で記念撮影をしていただきました。



▲宮殿内位置図



▲豊明殿 (ほうめいでん)



▲北溜 (きただまり)

天皇陛下のお言葉

この度の受章を心よりお祝い致します。
長年、それぞれの務めに励まれて、国や社会のために、また人々のために尽くしてこられたことに、深く感謝致します。
どうかくれぐれもお身体を大切にされ、元気に過ごされるよう願っております。

令和六年春の勲章伝達式等次第

令和六年五月十四日（火）
ホテルニューオータニ 鶴西の間

一 伝達式（午後一時四十五分）

1 開式
2 国歌斉唱
3 勲章伝達
4 祝賀曲奏楽
5 文部科学大臣挨拶
6 勲章受章者代表挨拶
7 閉式（午後二時十分）

二 各受章者へ勲章着用（午後二時十分）

三 皇居へ出発（午後二時四十分）

四 拝謁（午後四時五十分）

五 記念撮影（午後五時～午後六時四十分）

謹 啓

皆様には益々ご清祥のことと
お慶び申し上げます

さて 私こと

令和六年春の叙勲に際しまして
はからずも

瑞宝双光章受章の榮に浴し

去る五月十四日 夫婦共々皇居に
参内し 皇居宮殿に於いて
天皇陛下に拝謁し お言葉まで
賜りました

これもひとえに皆様の長年に亘る
心温かいご指導
ご支援の賜と深く
感謝申し上げます

今後共一層精励し些かなりとも
ご芳情に報いたいと存じますので
何卒倍旧のご厚誼ご鞭撻を賜り
ますようお願い申し上げます

末筆ではございますが御尊家皆様の
ご健勝とご多幸を祈念申し上げ
謹んで御礼のご挨拶とさせていた
だきます